

AIウイルスの診断・防除法

ファームフーズと動物衛生研究所 共同研究で開発へ

(株)ファームフーズ(金 研は、H5亜型ウイルス 抗体作製領域の解析・同 武社社長―本社・京都市 西京区)は10月8日、(株) 農研機構・動物衛生研究 所(略称「動衛研」との 共同研究による「H5・ H7亜型高(低)病原性 鳥インフルエンザの診 断・防除法の開発」が、 農研機構の革新的技術創 造促進事業(異分野融合 共同研究)の大型プロジ ェクトに採択されたと発 表した。

H5とH7亜型の鳥イ ンフルエンザウイルスは 世界的に発生が継続し、 ウイルスも多様化。パン デミックウイルスとして の警戒感も高まっている。ただ、それぞれのウ イルスを特異的かつ網羅 的に同定する迅速診断キ ャットがなく、その開発が 緊急課題とされてきた。

ファームフーズと動物 衛生研究所は、H5亜型ウイルス 抗体作製領域の解析・同 定と亜型特異性の確認を 担い、同社が抗原特異 性・親和性の高い抗体作 製技術を用いることで、 亜型特異領域に対するモ ノクローナル抗体の作製 を行なう。

同社と動衛研は、これ までに開発した診断キ ャットの感度の向上に加え、 H7亜型についても養鶏

現場で活用できる簡便で 迅速な診断キットの開発 を目指している。

ファームフーズと動物 衛生研究所は、H5亜型ウイルス 抗体作製領域の解析・同 定と亜型特異性の確認を 担い、同社が抗原特異 性・親和性の高い抗体作 製技術を用いることで、 亜型特異領域に対するモ ノクローナル抗体の作製 を行なう。

同社と動衛研は、これ までに開発した診断キ ャットの感度の向上に加え、 H7亜型についても養鶏